



議会だより  
第53号  
2019年8月発行

## 田んぼの水面に映し出される逆さ涅槃

写真提供 北里忠弘さん (下の原)

### 目次

- 令和元年第1回阿蘇市議会定例会報告 P 2～P 5
- 総務常任委員長報告 P 6
- 文教厚生常任委員長報告 P 7
- 経済建設常任委員長報告 P 8～P 10
- 市政を問う P 11～P 18
- 全国市議会議長会表彰 P 18
- 阿蘇市議会立野地区の復旧現地視察 P 19
- 阿蘇市議会活動状況 P 20

# 令和元年 第1回阿蘇市議会定例会報告

令和元年第1回阿蘇市議会定例会が、6月6日から21日までの16日間開催され、報告7件、承認5件、条例6件、予算5件、その他8件が審議されました。

## 条例審議（主なもの）

### 議案第35号 阿蘇市森林環境譲与税基金条例の制定について

可決

阿蘇市が行う間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進を図るため、国から交付される森林環境譲与税を活用した基金を設置し、適正に管理する必要があることから、本条例を制定するものです。

### 議案第37号 阿蘇市支所設置条例及び阿蘇市防災行政無線設置条例の一部改正について

可決

波野支所庁舎の新築移転に伴い、支所設置条例及び防災行政無線設置条例に明記された位置の一部を改正するものです。

### 議案第40号 阿蘇市一の宮温泉センター条例の一部改正について

可決

本施設は、これまで複雑な料金体系であったため、今回の改正により地域住民が利用しやすい体系に見直し福祉の向上を図るものです。

内容は、通年利用券の種類（一般通年、一般半年、グループ通年利用券）を廃止し、通年利用券（大人14,000円、こども7,000円）に改正されました。 ※有効期間は発行日から1年間

《お問い合わせ先》阿蘇市市民部福祉課 22-3167

## 令和元年度一般会計補正予算（主なもの）

補正額 2億3,266万円を可決  
予算総額159億9,463万円

歳入では、阿蘇市プレミアム付商品券事業等に関する国庫支出金、事業費の確定等による県支出金、市債等の増額を、歳出では、阿蘇市プレミアム付商品券事業、攻めの園芸生産対策事業等を追加計上しています。

項目	補正額	補正後の額
議会費	14万円	1億4,296万円
総務費	△ 2,293万円	16億2,522万円
民生費	3,950万円	59億3,313万円
衛生費	△ 542万円	14億1,036万円
農林水産業費	1億527万円	11億9,119万円
商工費	9,110万円	7億2,818万円
土木費	290万円	12億1,256万円
消防費	116万円	6億5,919万円
教育費	722万円	9億9,404万円
災害復旧費	1,372万円	2億3,430万円
その他	—	18億6,350万円
合計	2億3,266万円	159億9,463万円

## 農林水産業費

- 攻めの園芸生産対策事業……………事業費2,364万円



アスパラガス農家

## 教育費

- 各社会体育施設一般工事……………事業費2,130万円



改修されるアゼリア21空調設備

## 商工費

- 阿蘇竹田ブランド観光地域づくり推進協議会負担金……………950万円

阿蘇市、竹田市、JR九州などで構成する「阿蘇竹田ブランド観光地域づくり推進協議会」は、列車による送客を強化し、併せて増える訪日外国人旅行者の受け皿づくりとして、満足度向上と受入態勢の整備などを進めます。

その事業の一つとして、外国人旅行者を「英語」で案内するガイドを育てる「阿蘇地域通訳案内士養成講座」が開講されます。今後、オリンピック・パラリンピックなどの国際大会を控え、多くの外国の方に「阿蘇を楽しんでもらいたい」「おもてなしをしたい」という方を募集しています。

受講料	10,000円
募集定員	15名 ※定員に達し次第、申し込みを締め切ります。
応募資格	<b>日本語が母国語の方</b> TOEIC600点以上、もしくは実用英語技能検定2級以上に相当する外国語能力 <b>英語が母国語の方</b> 日本語能力検定N2級以上に相当する日本語能力 ※民間の語学検定については、研修受講の応募時点から過去5年以内を取得したものに限る。

《応募締切》令和元年8月26日（月）17時まで

《お問合せ先》阿蘇市経済部観光課 22-3174

## 令和元年度阿蘇市下水道事業特別会計予算について

### 総額 6億6,049万円

現在、進めている阿蘇市浄化センターの改築更新事業について、住環境課より以下の説明がありました。

「本事業は平成20年から進めており、管理棟の耐震強度が不足していることから、耐震改修工事を行います。また、この改修工事は、本年度から2箇年計画で総事業費1億9,680万円を予定しています。」



浄化センター（管理棟）

# 令和元年第1回阿蘇市議会定例会審議結果

議案等番号	件名	審議結果
報告第3号	専決処分の報告について	報告
承認第1号	専決処分した阿蘇市税条例等の一部改正について	承認
承認第2号	専決処分した阿蘇市国民健康保険税条例の一部改正について	承認
承認第3号	専決処分した平成30年度阿蘇市一般会計補正予算について（平成31年3月27日専決分）	承認
承認第4号	専決処分した平成30年度阿蘇市一般会計補正予算について（平成31年3月31日専決分）	承認
承認第5号	専決処分した平成30年度阿蘇市下水道事業特別会計補正予算について	承認
報告第4号	平成30年度阿蘇市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告
報告第5号	平成30年度阿蘇市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	報告
報告第6号	平成30年度阿蘇市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告
報告第7号	平成30年度阿蘇市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報告
議案第35号	阿蘇市森林環境譲与税基金条例の制定について	原案可決
議案第36号	国営大野川上流地区土地改良事業の農業用排水施設の管理に関する条例の制定について	原案可決
議案第37号	阿蘇市支所設置条例及び阿蘇市防災行政無線設置条例の一部改正について	原案可決
議案第38号	阿蘇市介護保険条例の一部改正について	原案可決
議案第39号	阿蘇市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第40号	阿蘇市一の宮温泉センター条例の一部改正について	原案可決
議案第41号	令和元年度阿蘇市一般会計補正予算について	原案可決
議案第42号	令和元年度阿蘇市下水道事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第43号	令和元年度阿蘇市国民健康保険事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第44号	令和元年度阿蘇市介護保険事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第45号	令和元年度阿蘇市後期高齢者医療事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第46号	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	原案可決
議案第47号	字の区域の変更について	原案可決
議案第48号	国営大野川上流地区土地改良事業の事務の委託について	原案可決
議案第49号	工事請負契約の締結について	原案可決
同意第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
同意第3号	固定資産評価員の選任について	同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任
報告第8号	株式会社ASOワークネットの経営状況を説明する書類の提出について	報告
報告第9号	一般財団法人阿蘇テレワークセンターの経営状況を説明する書類の提出について	報告

《市長提出事件数》 可決…条例6件、予算5件、その他4件  
 同意…2件  
 諮問…2件  
 報告…7件  
 承認…5件（条例2件、予算3件） 計 31 件

## 議案等の賛否表（賛否の分かれた議案等の結果）

○：賛成 ●：反対 議：議長

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
氏名	佐藤和宏	佐藤菊男	児玉正孝	甲斐純一郎	立石昭夫	竹原祐一	岩下礼治	谷崎利浩	園田浩文	菅敏徳	市原正	森元秀一	大倉幸也	田中弘子	五嶋義行	藏原博敏	古木孝宏	田中則次	河崎徳雄	湯浅正司	
議案																					
議案第35号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第39号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第41号	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	議

## 討論の内容

### 議案第35号 阿蘇市森林環境譲与税基金条例の制定について

**原案反対** 環境譲与税の施行に伴う基金条例の制定であるが、国土保全や地球温暖化等のための森林整備は必要とはいえ、あまりにも安易な財源確保対策である。よって、本制度のような使い道をあいまいにして広く国民に負担を求めるのはおかしいと思われ、それに関連して制定される基金条例に反対します。

### 議案第39号 阿蘇市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について

**原案反対** 上位法の一部改正に伴う条例の改正により、条文に「災害援護資金の貸付を受けようとする者は、保証人を立てなければならない。」と加えられたが、保証人を依頼できる親族や知人がいない被災者にとって利用できない制度となる恐れがあることから、本案には反対します。

### 議案第41号 令和元年度阿蘇市一般会計補正予算について

**原案反対** マウンテンバイクフィールド助成金について、当初の目的から離れているように思われる。また、本当にそれだけの利用があるのかという点でも疑問を感じることから、本案には反対します。

# 総務常任委員長報告

総務常任委員会に付託されました案件の主なものについて報告します。

委員長 田中弘子

## 議案第41号「令和元年度阿蘇市一般会計補正予算について」

### 財政課所管分

委員より、「一般職の非常勤職員数とその人件費の総額は。」と

の質疑があり、総務課人事係長から、「非常勤職員については、約90名を雇用しており、人件費総額はおよそ1億4,000万円です。」との答弁がありました。

別の委員より、「消防団の装備品として購



入するチェーンソー3台の配置場所は。また、使用には講習が必要かと思われるが。」との質疑があり、防災対策室長から、「チェーンソーは、本庁、波野・内牧の両支所に配置予定です。講習等については、今後、実施される訓練等で計画したいと考えています。」との答弁がありました。また、委員より、「強風により道路を塞いだ倒木等の緊急的な撤去も想定されることから、有効活用が図られるようお願いします。」との意見がありました。

別の委員より、「職員数については、合併当初と比較すると相当数減っているようだが、これまでの災害経験を踏まえ、現在の313名という数は適正だと思われるか。」との質疑があり、総務部長から、「2度の大災害を受け、個人的には現在の職員数が限界ではないかと感じています。しかしながら、確実に増高する社会保障に要する経費を考えると何らかの対策は必要であると考えます。」との答弁がありました。

関連して別の委員より、「国の指標と比較した場合どうか。」との質疑があり、部長から、「類似団体の職員数も減少していることから、国の指標とは少し開きはあると思います。また、阿蘇市は非常に面積も広く、支所も2つ設置している状況も踏まえ、今後の職員採用計画や再任用職員の活用なども含めて検討する必要がありますと考えます。なお、限られた人員の中で、より効率的な組織となるよう本年度中の組織

体系の見直しを予定しています。」との答弁がありました。

以上のような審査を経た結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

## 議案第46号「熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について」

総務課長から、「市町村総合事務組合の共同処理する事務のうち交通災害見舞金に関する事務について、規約にある構成する団体のうち合志市が脱退することに伴い、同文議決を求めるものです。」との補足説明があり、委員より、「この事務である交通災害見舞金について、交通事故に遭われた方が申請漏れのないよう確実な周知が必要であると思われるが。」との質疑があり、

課長から、「ホームページなどでしっかりと周知広報に努めていきたいと考えます。」との答弁がありました。

また、別の委員より、「交通災害見舞金の市の状況は。」との質疑があり、課長から、「平成30年度が18件、29年度13件、28年度21件、27年度37件、26年度35件です。支払い金額としては、ここ3箇年の申請状況としては、対象は10日以上入院等について2万円から、90日以上180日未満の治療期間で4万円の支給がほとんどです。」との答弁がありました。

以上のような審査を経た結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上が、総務常任委員会に付託されました案件についての報告です。

# 文教厚生常任委員長報告

文教厚生常任委員会に付託されました案件の主なものについて報告します。

委員長 森元 秀一

## 議案第41号「令和元年度阿蘇市一般会計補正予算について」

### 教育課所管分

教育課長から補足説明があり、委員より、「桜の伐採業務委託の180万円については、おおよそ何本ぐらいの伐採を予定しているのか。」との質疑があり、**社会体育係長**より、「伐採を予定している一の宮運動公園には、約90本の桜があり、そのうち73本がてんぐ巢病にかかっております。根元からの伐採は26本で、枯れ枝等の除去が47本となっております。」との答弁がありました。

また、別の委員より、「英語検定チャレンジがあり、**教育課長**より、事業補助金100万円の内訳と何名ぐらい見込んでいるのか。」との質疑があり、**教育課長**より、「中学3年生は、英検3級を200名程度と見込んでおり約78万円です。そのうち3分の1の26万円が県からの補助金です。残りの22万円は、4級、5級として、小中学生の希望がある生徒を募って、英語検定を受験させたいと考えております。4級に70名、5級に30名を想定しております。」との答弁がありました。

また、別の委員より、「英語検定チャレンジ事業の関連で、今後ALITも含め、人員の確保や事業充実の計画はあるのか。」との質疑があり、**教育課長**より、「今のところはALITを増やす予定はありませんが、小学校の4、6年生で英語科の授業が始まりましたので、市の職員を2名雇用し、ALITと一緒に英語活動の充実を図りたいと考えております。」との答弁がありました。

また、別の委員より、「国の高補助率の補助事業の対象とするため、エネルギー調査等を実施しましたが、診断の結果、補助金をいだける対象とはなりませんでした。」との答弁があり、また、**福祉課所管分**

### 福祉課所管分

委員より、「アゼリア21の施設は、市民の方々の医療費削減等にも大きく貢献しているところもあり、今後ともしっかりとした整備を行っていただきたい」との意見がありました。

**福祉課長**より補足説明があり、委員より、「幼児教育無償化システムは、業者への委託となっているが、個人情報取り扱いについては十分留意していただきたい。」との意見があり、**福祉課長**より、「個人情報には十分配慮してまいります。」との答弁がありました。

また、別の委員より、「消費税率が引き上げとなる中、子どもの貧困に対応するために給付される臨時・特別給付金について、その対象となる未婚の児童扶養手当受給者は、20名程度と言われたが、把握されているのか。また、支給方法は。」との質疑があり、**福祉課長**より、「戸籍情報等の状況に応じて対象になるかを判断します中で、細かい想定はしていません。また、支給については申請方式で、1回限りの支給となります。」との答弁がありました。

### ほけん課所管分

**ほけん課長**より補足説明があり、委員より、「成人風しんの予防接種については、よくニュース等で話を聞くが、阿蘇市としては広

報等でお知らせをするのか。」との質疑があり、**健康増進室長**より、「広報とお知らせ端末などで広く周知しています。また、クーポンなども速やかに発送できよう、説明文を付けて郵送の準備をしたいと思います」との答弁がありました。

以上のような審査を経た結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上が、文教厚生常任委員会に付託されました案件についての報告です。



# 経済建設常任委員長報告

委員長 五嶋 義行

経済建設常任委員会に付託されました案件の主なものについて報告します。

## 議案第35号「阿蘇市 森林環境譲与税基金 条例の制定について」

まず、農政課長より補足説明があり、続いて会計課長から、「基金の管理部分について、第3条第1項の基金に属する現金につきましては、地方自治法で最

も確かかつ有利な方法により、これを保管しなければならぬとされておられ、その規定を定めています。同条第2項は、地方自治法の規定に基づき、基金の運用方法の多様化を考慮して規定したものです。本市においては、これまで有価証券での運用は行っていない

が、資金運用の1つの手段として、元本が保証され、銀行への預金預けよりも確実に運用益が得られるような場合には、有価証券に変えることができるとして明記したものです。また、基金に関しましては、副市長を委員長とした『阿蘇市公金管理検討委員会』を必要に依りて開催し、協議を行う機会も別途定め

ています。なお、基金の運用状況等につきましては、例月出納検査及び決算書においてご報告させていただいておるところです。」との補足説明がありました。

その後、委員より、「この基金はどの程度の額を積み立てることができるものと考えているのか。また、基金活用の内容はどの程度考えているのか。」との質疑があり、農政課長から、「本年度は1,747万4,000円を予定しており、令和3年度まで毎年、同程度程度の額が市に交付される予定です。令和4年度以降は譲与税の増額に伴い若干上がる見込みです。予算配分については、初年度ということもあり、まず山林所有者に対して森林整備に関する意向調査、現地確認などで必要となる経費に一部充当し活用する予定です。」との

答弁がありました。また、別の委員より、「意向調査については、市が直接行うのか、森林組合などに委託するのか。既に他の町村では森林組合からの意向調査の通知があつてい



大蘇ダム

るようだが。」との質疑があり、課長から、「本市では、意向調査の前に、本制度を理解

しているのか。」との質疑があり、課長から、「本市では、意向調査の前に、本制度を理解

しているのか。」との質疑があり、課長から、「本市では、意向調査の前に、本制度を理解

しているのか。」との質疑があり、課長から、「本市では、意向調査の前に、本制度を理解

## 議案第36号「国営大 野川上流地区土地改良 事業の農業用排水 施設の管理に関する 条例の制定について」

農政課長からパネルによる補足説明があり、委員より、「今回の法的管理以外に、2市1村で構成する各土地改良区と、この管理部分との棲み分けはどのよ

うになっているのか。」との質疑があり、課長から、「ファームポンドから先の維持管理はどのようになっているのか。」との質疑があり、課長から、「ファームポンドから先

の維持管理はどのようになっているのか。」との質疑があり、課長から、「ファームポンドから先

の維持管理はどのようになっているのか。」との質疑があり、課長から、「ファームポンドから先

の維持管理はどのようになっているのか。」との質疑があり、課長から、「ファームポンドから先

の維持管理はどのようになっているのか。」との質疑があり、課長から、「ファームポンドから先



なお、国営施設については、維持管理協議会が採択を受けて操作管理を一体的に受託するという形になっていきます。」との答弁がありました。

### 農政課所管分

## 議案第41号「令和元年度阿蘇市一般会計補正予算について」

別の委員より、「阿

蘇市の受益農家は何戸で、阿蘇東部土地改良区（仮称）の設立はどのような状況なのか。」との質疑があり、**農村整備係長**から、「現在の水利利用の面積といたしまして、荻岳工区、それから茶臼塚工区、合わせて合計24戸で、現在30ヘクタールに対しての水利利用が行われています。まずはこの24戸の農家で土地改良区を設立いたしました、順次、水利利用面積を拡大させていくものと考えています。」との答弁がありました。

委員より、「担い手

づくり支援交付金事業補助金のポイント制について、何を基準に採点し、何ポイントを保しなければならないのか。」との質疑があり、**農政課長**から、「採択されるための必要ポイントは13ポイント以上です。採択基準としては、経営体が行う6次産業化の導入や規模拡大、新規就農者などの項目にポイントの配分がそれぞれ設定されており、それらを基に作成された申請内容を市が精査し、県へ採択申請するということになっていきます。」との答弁がありました。

また、別の委員より、

「畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

補助金について、地元説明会の詳しい内容を。」との質疑があり、**課長**から、「説明会は本年2月27日に対象地域の公民館で開催されています。約20名近くの近隣住民の方に参加いただいたという報告を受けています。」との

答弁があり、また、委員より、「出席された方だけに説明を行い、事業許可を得ているということでしょうか。」との質疑があり、**課長**から、「市の職員も説明会に参加し、事業者が地域の方に行った環境対策への配慮の方策等について、十分に説明内容を確認した上で、しっかりとした計画であると判断したものです。」との答弁がありました。

### 観光課所管分

委員より、「シエア

サイクリング実証実験負担金について、実験終了後も40台の電動自

転車を活用できるとのことだが、どこに配置するのか。」との質疑があり、**観光課長**から、「今後、実証実験の結果などを見て、実行委員会が決める予定です。」との答弁がありました。

また、委員より、「阿蘇竹田ブランド観光地域づくり推進協議会について、自治体はどのような位置付けなのか。」との質疑があり、**観光課長補佐**から、「自治体は事業主体になります。JR九州とは昨年12月に協定を締結しています。今後は列車による送客を強化し、併せて地域の活性化を図ろうというものです。事業内容の具体的なものとして、滞在プログラムの開発、公共交通ネットワークの構築、受入体制の整備などを進めます。」との

答弁がありました。

また、委員より、「マウンテンバイクフィール



ド助成金について、利用している方がどれだけいるのか疑問を感じている。実際にマウンテンバイクに興味を持っている人は阿蘇市内でどのくらいいるのか。」との質疑があり、**観光課長**から、「当初、現地に自転車を置くか置かないか。利用率を上げるには自転車を置くという検討がなされましたが、結果的に場所を提供するということが、スタートしました。現在、民間の方に管理を

依頼し、年間約2,000人の方々が利用されています。」との答弁がありました。また、委員より、「ナイトー教室を実施しているとの答弁があったが、電気料の支払いはどのようになっているのか。」との質疑があり、**課長**から、「推進期間というところで、市のほうで負担しています。」との答弁がありました。

また、別の委員より、再度、シエアサイクリングの実証事業について、

「総事業費3,000万円ということだが、事務局、事業主体的なものはどこで行うのか。」との質疑があり、**課長補佐**から、「事務局、実証事業の主体は、一般社団法人民間活力開発機構になります。機構、阿蘇市、そしてコギダス協議会とで実行委員会を設置し、本実証事業を行います。」との答弁があり、また、**委員**より、「実証実験は、内牧中心で考えていると思うが、観光客誘致のために行うものなのか、それとも市民に対してサイクリングの普及を図るものなのか、その辺りを明確にした方がよいと思われる。市も300万円負担して実施するのであれば、効果的なやり方を期待する。」との意見があり、また、別の**委員**より、「マウンテンバイクフィールドの利用率や活動状況には疑問を持っている。また、阿蘇竹田ブランド観光地域づくり推進協議会

の事業についても発想はいいのだが、その方向性が定まらず結果的に効果が出ないこともあると思われ、検証を行うことは大切だが、成果が上がらないのであれば、勇気を持って見直しや方向転換を行うことも必要であると思われる。」などの意見がありました。

### まちづくり課所管分

の事業についても発想はいいのだが、その方向性が定まらず結果的に効果が出ないこともあると思われ、検証を行うことは大切だが、成果が上がらないのであれば、勇気を持って見直しや方向転換を行うことも必要であると思われる。」などの意見がありました。

の事業についても発想はいいのだが、その方向性が定まらず結果的に効果が出ないこともあると思われ、検証を行うことは大切だが、成果が上がらないのであれば、勇気を持って見直しや方向転換を行うことも必要であると思われる。」などの意見がありました。



阿蘇 MTB パーク (内牧)

の事業についても発想はいいのだが、その方向性が定まらず結果的に効果が出ないこともあると思われ、検証を行うことは大切だが、成果が上がらないのであれば、勇気を持って見直しや方向転換を行うことも必要であると思われる。」などの意見がありました。

議案第42号「令和元年度阿蘇市下水道事業特別会計補正予算について」

の事業についても発想はいいのだが、その方向性が定まらず結果的に効果が出ないこともあると思われ、検証を行うことは大切だが、成果が上がらないのであれば、勇気を持って見直しや方向転換を行うことも必要であると思われる。」などの意見がありました。

の事業についても発想はいいのだが、その方向性が定まらず結果的に効果が出ないこともあると思われ、検証を行うことは大切だが、成果が上がらないのであれば、勇気を持って見直しや方向転換を行うことも必要であると思われる。」などの意見がありました。

の事業についても発想はいいのだが、その方向性が定まらず結果的に効果が出ないこともあると思われ、検証を行うことは大切だが、成果が上がらないのであれば、勇気を持って見直しや方向転換を行うことも必要であると思われる。」などの意見がありました。

の事業についても発想はいいのだが、その方向性が定まらず結果的に効果が出ないこともあると思われ、検証を行うことは大切だが、成果が上がらないのであれば、勇気を持って見直しや方向転換を行うことも必要であると思われる。」などの意見がありました。

の事業についても発想はいいのだが、その方向性が定まらず結果的に効果が出ないこともあると思われ、検証を行うことは大切だが、成果が上がらないのであれば、勇気を持って見直しや方向転換を行うことも必要であると思われる。」などの意見がありました。

の事業についても発想はいいのだが、その方向性が定まらず結果的に効果が出ないこともあると思われ、検証を行うことは大切だが、成果が上がらないのであれば、勇気を持って見直しや方向転換を行うことも必要であると思われる。」などの意見がありました。

# 14人の議員が市政を問う 一般質問

- 1 大倉 幸也「あそ☆ビバが夕方5時で閉まるのはなぜ？」…P11
- 2 河崎 徳雄「阿蘇火山（ジオパーク・ジオサイト）住民フォーラムの開催を」…P12
- 3 谷崎 利浩「阿蘇医療センターの見通しは」…P12
- 4 市原 正「英語教育の充実について ～世界に通用する阿蘇市の子どもたちを育むために～」…P13
- 5 菅 敏徳「内牧市街地の振興策について問う」…P13
- 6 園田 浩文「阿蘇医療センター常勤医師の確保に向けて」…P14
- 7 佐藤 菊男「波野地域の農業振興は」…P14
- 8 田中 則次「地方創生をどのように進めるのか」…P15
- 9 田中 弘子「阿蘇市生活相談センターに寄せられる相談とは」…P15
- 10 森元 秀一「道の駅の防災機能を高める取り組みを」…P16
- 11 古木 孝宏「一の宮中北側道路改良・中九州高規格ルート・特定健診・市道整備などの諸問題を問う」…P16
- 12 児玉 正孝「防災行政無線放送で市民の安全を確保するために」…P17
- 13 竹原 祐一「難聴者に補聴器購入補助制度の新設を」…P17
- 14 五嶋 義行「阿蘇市の基幹産業である農業と観光の実態と今後の取り組みは」…P18

## あそ☆ビバが夕方5時で閉まるのはなぜ？



大倉 幸也

**大倉** 平成22年に開園してから利用、管理などの状況は。

**荒木まちづくり課長** 平成30年度は約10万8千人の方が利用され、オープン以降累計で約70万人の方が利用されています。開園時間は3月から10月までは午前9時から午後6時まで、11月から2月までは午前9時から午後5時までです。（現在の開園時間は通年午前9時から午後5時まで）指定管理の委託料が年間1千万円程度となります。

**大倉** 近隣の公園、はなぐり井手公園、球磨川わいわいパーク、大分の、つくみん公園、中津公園などによく出かけるが、夕方5時で閉まる公園など無く、開放的でとても利用しやすい。あそ☆ビバは、なぜこういう形態であるのか。

**まちづくり課長** 子どもたちだけで遊びに来るといふこともあり、安全上また、教育上管理人がいる時間に利用していただくことで考えています。  
**大倉** 今回の補正で内牧の活性化ということ、1千3百万円かけて

「あそ☆ビバ」に新しい遊具が整備されるが、詳しい内容を。

**まちづくり課長** 4百万円でカーポートを3台、9百万円でコース整備です。バッテリーカーで有料での利用です。また、有料でラジコンカーなどでのコースも使用できるように整備をしていきたいと思っています。

**阿蘇坊中温泉「夢の湯」について**  
**大倉** 市有地取得での再開を目指し先方と交渉してきたと思うが、その内容と諦めた理由を。

**まちづくり課長** 市有地で恒久的、安定的な事業にしたいという観点で所有者さんとの交渉を進めてまいりましたが地域の皆様の再開の要望が強くなることから今までの形での再開となったわけです。

**佐藤市長** 契約事項については今後検討していきます。JR開通も決まり、今後誘客にも結び付くことから期限を区切り努力してきた結果であります。

他に「神楽苑について」の質問がありました。



あそ☆ビバ

## 阿蘇火山（ジオパーク・ジオサイト）の住民フォーラムの開催を



河崎 徳雄

光の目玉で明るい話題である。火口縁の駅舎で旧阿蘇町時代からの売店営業を行っていたが、新駅舎で営業再開は可能か。

**阿部経済部長** 駅舎解体で権利は消滅しており、営業再開は難しいと思われま。

**観光課長** 売店スペースは新駅舎では救護室になる予定であり、そうした安全面も重要と考えます。

**佐藤市長** 上の駅舎内に自動販売機か何か置かせていただけないかというところは先方に話をしております。それが可能になるかどうかは、まだはっきりしていませんが、こうした方向で今進んでいるということは伝えさせていただきます。

**河崎** 九州産交の山上ロープウェイが来年度中に再建されることは、観

### 阿蘇山ロープウェイ売店について

**秦観光課長** フォーラム開催については、学会等に引き続きお願いしているところですが、今後も住民の方々に阿蘇、火山のジオサイトの素晴らしさ等をお知らせしていきたいと思えます。



国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測施設（二塚牧野内）

## 阿蘇医療センターの見通しは



谷崎 利浩

**谷崎** 不採算部門の赤字はいくらか。医療、へき地医療、高度医療、小児医療、災害医療の部門で4億6千万円程度になると算出しています。

**井野医療センター事務局長** 救急医療、災害医療の部門で4億6千万円程度になると算出しています。

**谷崎** 総務省の不採算性部門の算定基準から（約3億5千万円、一般会計から繰り入れていく）、かなり隔たりがある。現場ではもつと赤字が出ているという事か。また、今後の見通しは。

**事務局長** はい、出ています。今後については、昨年8月から事業管理者をトップに各部署の長をメンバーとした「経営企画会議」を開き改善に取り組んでおり、併せて常勤医の確保が出来れば問題は解決すると思っております。今回、県が地域医療連携ネットワークという事業をスタートしました。これは県が熊本大学に寄附し講座を開設して、県内の地域医療拠点病院へ常勤医を派遣する事業ですが、クリアすべき課題もあり、そこに本年度は重点的に対応してまいります。

### 夢の湯の次の段取りは

**谷崎** 賃貸借契約の継続、施設の改修の判断により再開に進むことを評価したい。次の段取りは。

**荒木まちづくり課長** 6月中旬に設計変更の委託を出します。9月議会では工事関係、業務委託等の予算を上程いたします。

**谷崎** 閉館時、留守の管理をするだけで1千万円もの委託料を払っているが、物が破損しましたが、雇用問題もあり、まず臨時職員を削減しました。その後、契約社員は、ASOワークネット内で異動して頂くなどして、最後に正社員1名まで段階的に減らし、賃金が約6百万円となりました。更に手数料が約3百万円です。

他に「はな阿蘇美の未収金について」の質問がありました。



阿蘇医療センターに入る路線バス

英語教育の充実について  
世界に通用する阿蘇市の子どもたちを育むために



市原 正

**市原** 文部科学省の新学習指導要領で小学5、6年生での外国語科

(英語)の授業が始まる。市は先行して英語検定チャレンジ事業補助金を創設するが、その内容説明を。

**藤井教育課長**

来年度、外国語科として新たな授業が始まりますので、本市では先行して昨年度から英語の授業に取り組んでいます。更に外国人に情報発信できるグローバルな人材育成を目的に英語検定にチャレンジする小学5年生から中学3年生までに補助を行うものです。

**市原**

この事業は高く評価する。また、ALTの増員や、地区内に来ておられる外国人の方々を学校に来ていただき、英会話の実践ができる機会となるよう提案したいが。

**阿南教育長**

英語教育の充実については、教育課は小学校で英語の基礎教育を行い、ALTの週1回の授業や電子黒板を配置していますのでネイティブな英会話の学習が出来ます。今後、阿蘇市に住んでおられる外国の方が直接学校に来ていただく

ような取り組みも検討したいと思います。

**高年齢者の運転免許証返納について**

**市原** 高年齢者の免許証返納後のフォローは。

**山口財政課長** 免許証を返納しやすい環境づくりのため、路線バスや乗り合いタクシー、波野の福祉バスなどをより充実させることを検討しています。

**松岡福祉課長** 市民部関係の会議などで地域での共助の声をお聞きします。これらを踏まえ、今後、本件に関する検討会議などの場で提案して参ります。



ALTの授業風景

内牧市街地の振興策について問う



菅 敏 徳

**菅** 旧ショッピングセンター跡地を阿蘇体育館の第2駐車場として購入し、阿蘇の歴史や内牧の歴史などを紹介する展示箇所を設置し、また、足湯など公的な駐車場とを兼ねた休息スペースの整備を。

**荒木まちづくり課長** 跡地は民間の方が所有し、購入となると市の財政負担も大きくなると思われ、内牧商店街の中心に既存するArt'ichiを休息スペース癒しの空間として、より活用できればと考えています。

**菅**

信用組合からJA葬祭までを日曜日等に限定して歩行者天国にすることは出来ないか。

**まちづくり課長**

以前も地元の繁栄会の方と話をしましたが、様々な問題があり警察とも十分協議する中で合意形成ができれば検討していくことも出来ると思います。

**菅**

市道内牧中央線花壇の管理者看板の統一を図り、ネームプレートにコーマシヤルを入れては。

**秦観光課長**

まずは地震からのイメージ脱却ということで、地元の

方々で管理し、自分たちのネームプレートを作成し、温かみの中でもてなそうとしています。看板の統一は今後皆さんと検討していきます。

**菅**

内牧市内に水道管の約1割が耐用年数を経過しているとの説明があったが、今後どのような整備を進めるのか。

**浅久野水道課長**

老朽管更新の優先順位を定め、財政状況等を踏まえ新たな整備計画を策定し、健全な水道経営に努めます。

**菅**

観光振興策を今後どのように考えているか。

**佐藤市長**

出来ることを一つ一つ行い、創り上げていくことによつて阿蘇はこの観光地にも劣ることのない素晴らしい資源がありますので、あとは我々が一致団結して進めることが求められていると思います。



市道内牧中央線

# 阿蘇医療センター常勤医師の確保に向けて



園田 浩文

**園田** 常勤医師確保の手段として医師修学資金貸付制度の検討を。

**井野医療センター事務局長**

県事業として「熊本県医師就学資金貸与制度」があり、医師が不足している地域の病院に将来医師として勤務する医学生に対して修学資金を貸与するもので、県知事指定の地域の病院に一定期間勤務すれば全額返金免除となる制度です。制度は10年前にスタートし医学部6年間、初期研修2年間、後期研修2年間を経て、来年度よりその1期生3名が対象です。知事指定の地域の病院は8病院あり、本人の意思を含め上手くマッチング出来れば、来て頂く可能性はあると思っています。貸与制度の導入については、かなり先を見なくてはならない制度であり、将来的な医師確保の手段としてメリットはありますが、慎重な対応を取らざるを得ないと考えています。

**園田** 制度についての市長見解は、感じますが、将来のある若い医師を制度により縛っていいのか疑問に思

**佐藤市長**

います。人権問題に関わってくるのではないかと思われ慎重に検討する余地があるかと思っています。

**園田** 震災後医師、看護師の配置状況と通勤状況は。

**事務局長**

現在の常勤医師は7名で、非常勤医師は約30名。看護師は常勤84名と熊本市民病院受入れ10名、非常勤12名です。通勤状況は、総職員数約150名中阿蘇市外からの通勤者は約3割の55名です。

**園田** 看護師寮と託児所の整備を。26戸を看護師も含めた医療関係者の宿舎用と託児所用として、県へ払下げの要望をしています。

**事務局長**

他に「仮設住宅の現状と今後の空き住宅の取扱いについて」などの質問がありました。

他に「仮設住宅の現状と今後の空き住宅の取扱いについて」などの質問がありました。



阿蘇医療センター

# 波野地域の農業振興は



佐藤 菊男

**佐藤**

阿蘇東部地域である波野地区における今後の農業の振興についてどう考えているのか。

**佐藤市長** 農地の基盤整備に思い切って取り組み、地元や新規就農者の参画をはじめ企業的な参入のチャンスも作りながら、波野地域の農業振興を継続的なものにしていくことが大事であります。現在、副市長を中心にプロジェクトチームを編成しましたので、その中で地元農家や関係機関の意見等をいただき、問題点を洗い出しながらメリハリのあつもの、現実性に近いものを創り上げてトライしていきたいと思っています。

**佐藤** 着工から40年を経過した大蘇ダムが来年4月に供用が開始されるが、受益農家に対する今後の営農指導等の体制の確立は。

**佐伯農政課長**

現在は主に施設園芸への水利用が行われ、安定的な水の供給により収量も増加傾向で品質も向上しています。今後、露地野菜における新規作物の導入も視野に

入れ、対象圃場の全てで水利用が図られるよう関係機関と連携し推進していきたいと考えています。

**佐藤** モデル団地は市と土地の利用権設定が、本年度末で終了するが契約更新等の早急な対応は。

**市長**

波野地区の農業発展を図るためにも必要不可欠な施設であり、現在も契約更新に向け最大限の努力をして取り組んでいます。

他に「野生のイノシシ・鹿対策について」の質問がありました。



大蘇ダムより水供給を受けている「荻岳ハウス団地」

# 地方創生をどのように進めるのか



田中 則次

**田中** 政策の取り組みと実現度合について、また今後の方針、特に人口減少対策は。

**山口財政課長** 平成27年度に人口活性化ビジョンを策定しました。経済活性化による活力創造、福祉の充実による選ばれた町の創造、教育による人材育成に取組もうとする最中、地震が発生し、実績としては今一步という状況です。

**田中** 今、各地で取組まれているUターン、Iターン政策に伴う空き家活用また、優遇税制に対する取組みは。

**荒木まちづくり課長** 移住フェア等に参加し、必要な人材の掘り起こしを進め、市内の空き家登録件数32戸あり、利用したいという問い合わせが84件ありました。結果、20戸が売買または賃貸借契約済みです。今後とも、他自治体を参考に検討します。

**田中** 企業誘致対応に関しては今これまで努力されてきたと思うが、地の利等で進出が難しい面もある。人口増や生産性の面など、これまでに

ない特段の施策、免税、土地贈与を含めたプラスアルファとなる支援の提示は出来ないか。

**まちづくり課長** 進出企業にも力を入れ、既存企業の操業拡大、従業員の市在住の働きかけまた、商工会とも連携し働く場所の確保に努めます。

**田中** 阿蘇は様々な農業形態があり今、後継者問題もある。より専門高度な教育環境と併せて人口問題もある。そこで、この地に農業高等専門学校の設定は出来ないか。

**佐藤市長** 農業振興は非常に大事なことです。人口減少の歯止め、斬新的なものを取り入れ、できれば、関係機関に声を掛けていきたいと思っています。



オムロン阿蘇株式会社

# 阿蘇市生活相談センターに寄せられる相談とは



田中 弘子

**田中** 生活相談センターの相談内容と対応状況について。

**岩下市民課長** 平成30年度の実績は、新規相談で450件でした。内容は、はがきやショートメール等による架空請求が最も多く100件でした。2番目に消費者金融等の多重債務関係が89件でした。3番目にショートメールやSNS等によるインターネットトラブルが73件で、これらが上位の相談となります。

**田中** 相談のあった中で処理されたのは何パーセントなのか。

**市民課長** 多重債務・振り込み詐欺では全額は返ってこない場合もあります。450件あった相談には全て対応しており100パーセントです。例えば30年度で商品サービスなどの相談があった内で契約金額として約5億5千万円あり、この内、救済に繋がったものとして約4億4千万円でした。

## 市内小中学生の不登校や引きこもりについて

**田中** 市内小中学校の不登校や引

きこもりの現状と対策は。  
**藤井教育課長** 1年間に病気等以外で連続または継続して30日以上欠席した場合に不登校となり、平成30年度に小学校で6名、中学校で18名という状況です。

**田中** その要因は。  
**教育課長** 人間関係、無気力、人生における不安その他となっています。教育委員会の方でも社会教育の一環として先日講演会に参加し、親の学びプログラムの中で「子どもさんの前では、ケンカしないで」と講師の言葉をいただきました。中学校では進学という部分で不安になるのではないかとというデータが出ている状況です。

他に「阿蘇医療センター医師について」の質問がありました。



# 道の駅の防災機能を高める取り組みを



森元 秀一

**森元** 大規模災害に備え、全国にある道の駅の防災機能を高める取り組みが広がっている。国土交通省では2014年から重点道の駅制度を導入、地域振興に加え高い防災機能のある道の駅に対し、重点的に社会資本整備総合交付金での対応を行っています。公明党は国内での液体ミルクの製造販売解禁を推進し、全国で災害時の備蓄品へ追加が進んでいる。乳幼児液体ミルクは常温で約1年間保存が可能、お湯も必要としないため、乳幼児にすぐに与えることができるのが特徴、お湯の確保が困難な災害時にも避難所で活用が期待されているが、今後の取り組みについて市の見解は。

## 荒木まちづくり課長

「道の駅阿蘇」は重点道の駅にも指定されているということで、防災トイレの計画が進み、「道の駅・波野」においては、防災倉庫の整備がなされているという状況です。市においては今回の6月補正でロングライフ食の備蓄という形で予算を計上させていただいています。液体ミルクにおいても

予算承認いただきましたので、今後進めて参ります。

## ピロリ菌検査の助成について

**森元** 阿蘇市民の方々から検査費用の軽減を図る助成支援の署名8307通が、市長に提出されています。県下市町村の支援が進む中、市の助成制度の考えは。

## 藤田ほけん課長

胃がん対策として、厚生労働省のガイドラインでは、住民健診において胃部X線検査を推奨しており、ピロリ菌抗体検査については、有効性の科学的根拠が十分でないため推奨していません。今後の国の検証等を注視して検討したいと思えます。

他に「国民運動となっている食品ロス削減推進運動について」、「LGBTの取り組みについて」の質問がありました。



道の駅 阿蘇

# 一の宮中北側道路改良・中九州高規格ルート・特定健診・市道整備などの諸問題を問う



古木 孝宏

**古木** 一の宮中北側道路改良は長期間かかったが利用する市民、特に保護者には非常に通行しやすくなったと好評である。しかし、当初から言っていたように県道からの入り口が狭く警察との協議も必要とのことであったが、早めに協議を行い、改良を進めるべきでは。

## 佐藤市長

道路入り口には店舗、駐車場もあります。整備後の利用状況を踏まえ改良を進めていくことが必要であるものと考えており、今後何らかの支障等が出れば早急な対応を行います。

## 古木

中九州高規格道路の大分県側は竹田市まで開通し利便性が良くなっているが、阿蘇市内のルートの要望活動はどうなっているか。

## 市長

関係機関への要望書には未定ではあるが、全体図の中にルートを示しており、今後早く進められるよう、更に要望したいと考えています。

## 古木

特定健診の40代、50代の受診率が低く、過去5年間で100人程亡くなっている。働き盛りの尊

い命を何とか助けられるよう阿蘇市独自のしっかりした対策を練る必要があるのでは。

## 藤田ほけん課長

難しい課題ではありますが、若い世代が受診しやすい環境づくりなどの対策に取り組み、受診率向上を図り、癌や脳・心疾患の早期発見・早期治療に繋げて、早世の予防に努めていきたいと考えています。

## 古木

市道整備の考え方について、災害を理由にしても整備は進まない。悪い道路は早急に対応してもらいたい。今回、要望の坂梨市道は穴補修が100箇所以上あり、非常に危険である。対応はいつになるのか明確な答弁を。

## 中本建設課長

9月補正予算等で予算確保に努め、出来る限り今年度内中に対応したいと考えています。他に「インターネット使用料改定は」の質問がありました。



市道高田金能田線 (一の宮中学校付近)



# 防災行政無線放送で市民の安全を確保するために



児玉 正孝

**児玉** この時期になると、土砂災害等に備えるよう準備を促す放送が、お知らせ端末を通じて行われている。避難勧告等の緊急情報は、市内各地にある屋外の防災無線スピーカーで広く周知される方が望ましいと思うが、聞こえづらい箇所もあるのでは。

**村山総務課長** 聞こえづらい箇所について要望があがった際に随時現場確認し整備を行っていますが現在のアナログ方式では調整に限度があるのが実情です。よって、各戸に無償で貸し出されている個別受信機を広げていく対応を行っています。

**児玉** 防災行政無線のデジタル化調査設計業務委託料で2,350万円計上してあるがデジタル化した際のメリットは。

**総務課長** デジタル化することにより画像など多様な情報伝送もでき情報を広く得ることが可能となります。屋外スピーカーについては1箇所から片方は遠くまで、もう片方は近くに音声を抑えるなど異なる方向の伝達距離の調整も可能になり地域の

の要望に応えた対応ができると思います。お知らせ端末もあり、費用対効果を考えながら機種選定並びに聞こえるポイント等を確認し整備に取り組んでまいります。

## 上西黒川成川線の市道拡幅に向けて

**児玉** 「農村公園あびか」から南へ向かう市道の幅員は4mしかなく、河川と圃場に挟まれて危険であると思われるが、拡幅工事の予定はあるのか。

**中本建設課長** 上西黒川成川線は幹線市道と位置付けています。令和5年までに阿蘇第5地区更新基盤整備事業（12工区）の施設等の更新を行う計画の中で、当市道沿線に接する用水路改修の計画がありますので今回の更新事業に合わせた道路の拡幅を計画しています。

他に「災害時のドローン活用について」の質問がありました。



市道上西黒川成川線

# 難聴者に補聴器購入助成制度の新設を



竹原 祐一

**竹原** 高齢化に伴い仕事や社会生活に困る高齢者の難聴者が増えていますが、補助制度のある欧米では難聴を病気として捉え、かたや日本では障害者という枠で捉えて補助対象を絞り込んでいるため、補聴器所有率が低く、高齢者が社会で活躍し、働くときに補聴器は必需品となるが、個人負担が大きくなるものと思われる。これに関しての市の補助制度は。

**松岡福祉課長** 18歳未満で5つの条件を全て満たす方、補装具交付事業として、身体障害者手帳を所持している方に補聴器を支給する制度があります。

**竹原** 障害者手帳の交付要件は。

**福祉課長** あくまでも医師の判断が必要となります。大声でなければ会話が出来ない場合など、聞こえ難さの程度によっては、交付の可能性もありますので、必要に応じて医師にご相談下さい。

**竹原** 高齢者の社会参加はどんどん進む中、社会への参加を進めていくために、軽度な難聴の段階で適用補助制度があれば、積極的な社会参加が可能になると思うが、今後、補聴器の補助制度の考えは。

**福祉課長** 市独自としては難しいと思います。既にある事業の活用を願うとともに、国策としての対応を期待しています。

他に「子育て支援、子ども医療費無料化実現を」、「新規就農者・兼業農家支援制度を」などの質問がありました。



補聴器（イメージ）

# 阿蘇市の基幹産業である農業と観光の実態と今後の取り組みは



五嶋 義行

**五嶋** 今、農業の担い手不足、労働力不足の中、出入国管理法が改正され外国人の受け入れの実態は。

**佐伯農政課長** 外国人研修生は農家の生産拡大や人材の確保に一翼を担っている状況であります。JA阿蘇が平成18年から外国人技能実習生受入事業を展開しており、現在カンボジアから61名、中国から3名の受け入れが行われています。

**五嶋** 法律が変わってこの研修生問題を今後どのように考えていくのか。

**農政課長** 本年4月からの新たな制度の中、県の方でも受入環境の整備に係る取組みを検討されています。このことから、JA阿蘇をはじめ、関係機関が連携して、就業人口が不足する中での外国人材の受け入れが増えるような環境整備を推進していきたいと考えています。

## 阿蘇市の観光振興について

**五嶋** 阿蘇市の観光ガイドの実態は。



**秦観光課長** 市の観光ガイドは、阿蘇ジオパークガイドの80名をはじめ、阿蘇神社を案内する一の宮ボランティアガイド会、阿蘇火山博物館ASO田園空間博物館、旅館組合の5団体で、昨年度も大変多くの方々を案内されています。

**五嶋** 現在、ガイドの数は足りているのか。

**観光課長** 外国人を案内するガイドが不足しています。そのために地域通訳案内士の育成を図っていきます。

## 全国市議会議長会表彰受賞者

第95回全国市議会議長会が本年6月11日に東京都内で開催され、全国市議会議長会表彰規定に基づく表彰があり、4年以上議長職にあった藏原博敏氏、副議長職にあった井手明廣氏に表彰状が送られました。



井手 明廣氏



藏原 博敏氏

# 阿蘇市議会立野地区の復旧現地視察

令和元年7月12日



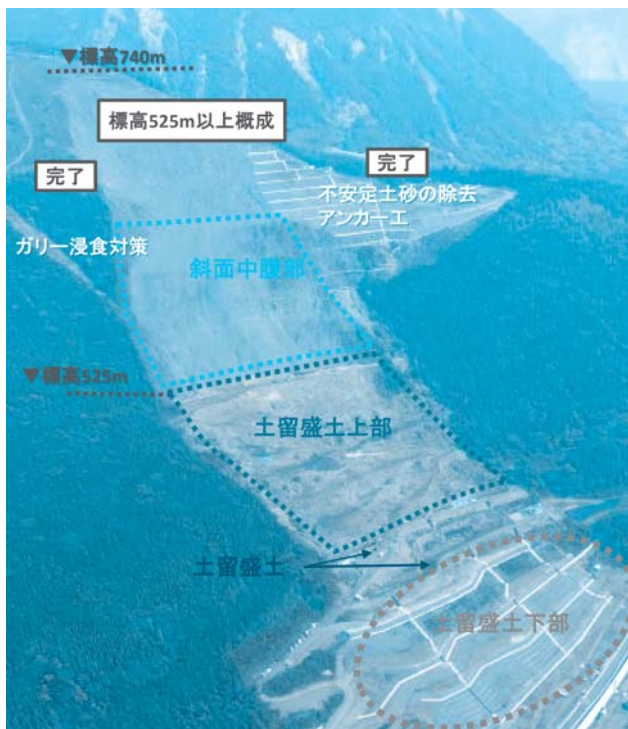
＜熊本地震発災時の被災概要＞

- 発 災 日 ■ 平成28年4月16日（本震）
- 被 害 状 況 ■ 国道57号、国道325号、JR豊肥本線
- 崩壊土砂量 ■ 約50万m<sup>3</sup>（推定）

国土交通省は、平成28年熊本地震による斜面崩壊で寸断された国道57号・JR豊肥本線を熊本都市圏と大分・宮崎を結ぶ、生活、経済、観光を支える重要交通として捉え、早期復旧を目指し、高度な技術力をもって崩壊斜面对策に取り組んでいます。

## 阿蘇大橋地区の進捗状況（令和元年6月18日現在）

斜面中腹部の施行が概ね完成し、土留盛土上部の対策に着手しました。



《土留盛土上部》鋼製土留工、転石破碎 施工中



《土留盛土下部》

- ・山腹水路工 施工中
- ・斜面对策工事、黒川河川欠壊防止工事で工事ヤードとして使用中

熊本地震により不通となっているJR豊肥本線については、2020年度内の開通を、現道国道57号については、路盤改良や崩落防止対策工事を進め、早期の開通を目指していますとの説明がありました。

# 阿蘇市議会活動状況 (令和元年5月～8月)

- ◆ 5月22日
  - ・ 第269回熊本県市議会議長会
- ◆ 5月29日
  - ・ 阿蘇市議会運営委員会
- ◆ 6月6日
  - ・ 阿蘇市議会全員協議会
- ◆ 6月6日～6月21日
  - ・ 令和元年第1回阿蘇市議会定例会
- ◆ 6月19日
  - ・ 阿蘇市議会運営委員会
  - ・ 阿蘇市議会全員協議会
- ◆ 6月28日
  - ・ 阿蘇市立波野保育園改築工事地鎮祭並びに起工式
- ◆ 7月12日
  - ・ 九州北部豪雨災害追悼行事
  - ・ 立野地区の復旧状況現地視察
  - ・ 阿蘇市議会運営委員会
- ◆ 7月26日
  - ・ 阿蘇市町村正副議長・常任委員長・議会運営委員長研修
- ◆ 8月5日
  - ・ 阿蘇市波野支所新庁舎開所式
- ◆ 8月6日
  - ・ 熊本県知事への要望活動
- ◆ 8月7日
  - ・ 県道内牧坂梨線（三野工区）開通式



阿蘇市立波野保育園改築工事地鎮祭並びに起工式



九州北部豪雨災害追悼式



立野地区の復旧状況現地視察



阿蘇市町村正副議長・常任委員長・議会運営委員長研修

## 編集後記

梅雨が明け本格的な夏の到来となり、皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

元号が「平成」から「令和」へと変わり「令和元年第1回阿蘇市議会定例会」が16日間の慎重審議を経て31の諸議案が可決され、今後、阿蘇市の未来像を模索する様子を編集いたしました。これからも議会活動を多くの皆さまに知っていただくため、少しでもわかりやすく、見やすい誌面づくりに鋭意努力してまいります。

これからますます暑い日が続きます。市民の皆さまには体調管理に十分に気を付けいただき、元気にこの夏を乗り切りましょう。

広報副委員長 菅 敏徳

### 【議会広報特別委員会】

委員長 田中 弘子  
副委員長 菅 敏徳  
委員 大倉 幸也  
谷崎 利浩  
立石 昭夫  
甲斐 純一郎  
佐藤 菊男